

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

介護保険値上げ、葬祭助成を減額

共産党は負担増に反対し、修正案を提案

3月定例議会は先月26日、介護保険料の値上げや葬祭費の助成減額など、すべての議案を市長提案のとおり賛成多数で決めました。

市議会は、65歳以上の人の介護保険料を市長提案とおり値上げすることを決めました(大谷、日隈両市議のみ反対)。現在の基準額(月額5018円)から10.4%増の524円引き上げです。

大谷市議は反対討論で「保険料の滞納者は312人、そのうち約200人が基準額以下の所得階層。多くの高齢者の生活が脅かされる負担となっている」と指摘。一般財源から介護保険財政への繰り入れを行うなどして保険料の値上げをしないよう求めました。

共産党は、国庫負担割合(現在25%)を直ちに10%引き上げ、将来的には、国庫負担50%に引き上げることを提案しています。その財源は、消費税ではなく、富裕層

や大企業に心分の負担を求めることなどで確保できます。

今月から国民健康保険が、大分県と市町村との共同運営になります。これに合わせて、被保険者が死亡したときに支給する葬祭費を県下統一の2万円に減額しました。共産党市議団は、現行3万5千円のままにする修正案を提案。葬祭費の助成減額に反対しました(大谷、日隈両市議のみ)。

75歳以上の人の後期高齢者医療保険料は、大分県の場合0.3%年143円の値上げに抑えられています。しかし、特例軽減の打ち切りで、日田市で1375人が年5200円の負担増です。葬祭費助成1万5千円が削減され、国保と同じ2万円になります。



▲ 登壇して一般質問する日隈市議 (写真中央) = 3月8日、日田市議会本会議場

共産党と市民クラブ 憲法、働き方改革の請願に賛成討論

3月議会
最終日

国保税引き下げ請願は共産党のみ賛成

慎重な憲法論議を求める請願、国保税引き下げの請願、真の働き方改革を求める請願が、3月議会最終日に採決されました。3つの請願は、賛成少数で不採択となりました(左表のとおり)。

日隈市議は議会最終日、慎重な憲法論議を求める請願と真の働き方改革を求める請願に賛成討論。この中で、「安倍首相が9条

改憲で書き込む自衛隊は、歴代政府が憲法違反としてきた攻撃型兵器を持つ自衛隊」と指摘し、「過半数の国民が安倍改憲の強行に反対している」と強く賛成を求めました。

請願の採決結果

会派	議員氏名	憲法	国保	働き方
共産党	大谷敏彰	○	○	○
	日隈知重	○	○	○
市民クラブ	高瀬 剛	○	●	○
	溝口千壽	○	●	○
	古田京太郎	○	●	○
	井上正一郎	○	●	○
市政クラブ	坂本盛男	●	●	●
	嶋崎健二	●	●	●
	森山保人	●	●	●
	財津幹雄	●	●	●
	安達明成	●	●	●
	渡辺孝裕	●	●	●
	高倉和一郎	●	●	●
新世ひた	飯田茂男	—	—	—
	石橋邦彦	●	●	●
	居川太城	●	●	●
	三苦 誠	●	●	●
	中野哲朗	●	●	●
公明	松野勝美	●	●	●
	坂本 茂	●	●	●

※ ○は請願に賛成、●は反対を表します。議長(飯田茂男氏)は、表決に加わりません。